

人を対象とする医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日：H29年11月5日
研究課題名：早期離床のための業務改善（早期離床プロトコルの実施）の評価 研究期間：倫理審査承認後～西暦2024年12月
研究対象： ① アンケート：医師、看護師、療法士（アンケート） ② プロトコル使用：当院入院患者さん（クリニカルパスを用いている患者さん、小児患者さんは対象になりません）
対象材料 ■他（診療録、記録用紙、アンケート回答用紙） 上記材料の対象期間 西暦2016年6月～2022年12月 （2016年6月～業務振り返り、及び2017年7月に施行したアンケートを含む）
意義・目的： 【背景】昨今、早期からのリハビリテーションの効果が注目されています。これまでの報告で、重症の患者さんでも、病状をみながら、早めにベッド上でからだを起こしたり、運動を始めることは、退院時の日常生活動作の再獲得に効果があり、入院期間の短縮、呼吸器離脱促進、せん妄改善に関与する可能性があると考えられています。当院でも早期離床に向けて適切な対応が行えるようなシステム作りが求められています 【目的】患者さんの退院時の日常生活動作改善を目的に、早期離床をすすめる業務改善の評価
方法： ① 筑波メディカルセンター病院では、スタッフに安静度やリハビリテーション内容に関するアンケートを実施し、その結果を踏まえて、各病棟、各職種間で共通に使える早期離床プロトコルを実施しております。 ② 実際にプロトコルを使用し、退院時の日常生活動作を確認、適切な業務改善ができていますか

評価致します。

* 早期離床を進めていく上で臨床上の通常業務として下記の項目を確認・記録していきます

患者さんの病態、意識レベル、バイタルサイン、実施したリハビリテーションの内容・時間、有害事象の有無、安静度と実施したリハビリテーションレベルの差、疾病毎のリハビリテーションの進行度合いの違いの有無、リハビリテーション中止理由、入退院時の日常生活動作

- ③ 本研究で得られた成果は学会などで学術報告されます。個人情報には匿名化し、厳重に保護いたします
- ④ 今回は、診療目的で行ったリハビリテーション資料（既存資料）を利用した解析であり、個別に患者さんに対して同意を得ることは行いませんが、患者さんから拒否の申し出があれば対象にはいたしません。診療外目的使用に不同意の方は御連絡ください。

問い合わせ等の連絡先

筑波メディカルセンター病院 リハビリテーション科

齊藤久子（代表番号 029-851-3511）